

新春に寄せて

八代市長 坂田 孝志

輝かしい初春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

私は市長就任以来「元氣と活力ある八代」を創ることを基本的な考えといたしまして、市政の推進に全力を傾注してまいりました。その結果、昨年は様々な事業に着手でき、新しい「八代市」の建設に向けて大きく前進した年であったと思っております。

まずは、八代港を活用し企業立地を促進する「八代市港湾利用型産業集積形成基本計画」の大臣認定、鏡町の「鏡ヶ池公園」や坂本町の「くま川ワイワイパーク」

が開園したほか、昨年末には、新幹線新八代駅東側に「八代よかご物産館」も開館いたしました。また、日奈久温泉のシンボルであります日奈久温泉センターの改築にも着手し、今年の7月頃にはオープンを予定しております。

そのほか、今年2月に正式決定となる「水島」の「国名勝」指定は、今年開園予定の「万葉の里公園」とともに、観光客誘致に大きな弾みがつくものご期待いたしております。

一方、鏡中学校の「全国中体連バドミントン大会（女子団体）」での準優勝、第一中学校の「全日本マーチングコンテスト」での銀賞獲得のほか、八代農業高等学校の「日本学校農業クラブ全国大会」での最優秀賞並びに文部科学大臣賞の受賞など、明るいニュースがたくさんありました。

今年、更なる飛躍を目指して、市民の皆様と手を携え、各種施策の推進に全力で取り組んでまいりますので皆様方のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本年が、市民の皆様にとりまして、健康で喜びと幸せに満ちた一年となりますことを心からお祈りいたしまして、年頭のご挨拶といたします。



新春のごあいさつ

八代市議会議長 渡辺 俊雄

市民の皆様、明けましておめでとうございませう。

平成21年の希望に満ちた新春を健やかに迎えることと、心からお慶び申し上げます。また、平素から、議会活動に対する温かいご理解と絶大なご協力を賜り、八代市議会を代表し、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、米国発のサブプライムローン問題に端を発する世界的な金融市場の混乱や、原油をはじめとする諸資源の価格暴騰、株安など、日本経済は数多くの緊急課題に直面し、急速な景気の減速・後退を招くに至ったにもかかわらず、いわゆる「ねじれ国会」のもとで、極めて不安定な政治情勢を余儀なくされ、有効な政策が見出せず、先行き不透明な不安に満ちた一年でありました。

本市におきましても、景気低迷や原油価格高騰の影響が市民生活に大きな影響を落としており、本年は、税収の落ち込みなどにより、さらに厳しい行財政運営を強いられることが予想され、こうした中、市政のチエック機関としての市議会の果たすべき役割は、ますます重要なものとなっております。

今後、市民の皆様方の声に真摯に耳を傾け、市政に反映させながら、複雑多様化する社会情勢に対応した適切な行政施策の推進に努め、市民福祉の向上と、旧六市町村の均衡ある発展に向け、一致団結して尽力する所存でございます。また、市議会自体も、より一層開かれた議会を目指し、市民の皆様のご期待にこたえてまいりたいと考えておりますので、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が皆様にとりまして、すばらしい年となりますよう心からご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。

